

語句	概要
アウトリーチ	援助者が援助者の所属する機関で利用者を待つだけではなく、積極的に（所属する機関）から利用者の住居や地域へ（出向く）こと。
アセスメント	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 クライアントのかかえる問題の解決のために（課題）を明確にする段階。（事前評価）ともいう。
アドボカシー	自分の意思を表明するのが困難な人たちの意思や権利を、援助者が（代弁）すること。
インターベンション	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 プランニングを実行に移す段階。（介入）ともいう。介入には、クライアント本人に直接行う援助である（直接的介入）と、クライアントの家族や他の機関と連動して行う援助である（間接的介入）がある。
インテーク	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 福祉サービスを受けるクライアントからの相談を受けるために、最初に（事情）を聞く場のこと。（受理面談）ともいう。
ADL	activities of daily living。食事・更衣・移動・排泄・入浴など、（生活を営む）上で不可欠な基本的行動のこと。
エコマップ	マッピング技法のひとつ。（ジェノグラム）で表現される（家族関係図）に加え、その（周囲の人々）やさまざまな（社会資源）とのつながり、関係なども含めて図式化したもの。
エゴグラム	（「交流分析」）という人間関係の心理学理論に基づいて作られた性格診断テスト。人の性格を5つの心の領域（CP・NP・A・FC・AC）に分けて分析。
NPO 法人	（特定非営利活動）を行う団体に法人格を付与すること等により、ボランティア活動をはじめとする市民の自由な（社会貢献活動）としての特定非営利活動の健全な発展を促進する。様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力等）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たす。
エバリュエーション	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 進めてきた援助がクライアントの問題を解決し、最初の目標を達成できたかどうかを判断すること。（事後評価）ともいう。

語句	概要
エンパワメント アプローチ	社会的に抑圧されている対象者に対し、その（ <b>潜在能力</b> ）に気づかせて、自らの力で問題を解決する。
解決志向 アプローチ	原因よりも解決に向けた方向性を考え、（ <b>短期</b> ）に目的を達成する。
カウンセリング	主に臨床心理学に基づき、専門職が行う心理的な問題を中心とした援助。カウンセリングの種類として、個人カウンセリングの他、（ <b>ファミリーカウンセリング</b> ）（個人と家族が対象）、（ <b>グループカウンセリング</b> ）（集団でカウンセリングを行う）、（ <b>ピアカウンセリング</b> ）（同じ立場の人間がカウンセリング技法を習得し、互いにカウンセリングを行う）などがある。
課題中心 アプローチ	具体的な（ <b>課題</b> ）を設定して、（ <b>4</b> ）か月以内の短期間に集中して問題を解決していく。
危機介入 アプローチ	（ <b>心理的危機</b> ）に直面している対象者に、迅速な（ <b>介入</b> ）を行う。
機能的アプローチ	利用者には（ <b>潜在的な可能性</b> ）があるととらえ、利用者の（ <b>社会的機能</b> ）を高めることで問題解決を図る。
グループ ダイナミクス	グループワークの理論のひとつで、（ <b>レヴィン</b> ）が提唱した。グループと個人、グループとグループ、組織とグループなどの関係性を明らかにしようとする方法。（ <b>集団力学</b> ）ともいう。
グループワークの 展開	①グループの目標、活動内容などを決定する準備段階である（ <b>準備期</b> ） →②メンバーのグループへの帰属意識の構築、メンバーの役割分担の決定など、作業期への環境整備段階である（ <b>開始期</b> ） →③実際にグループワークが始まり、グループワーカーはそれを見守りながら必要に応じて軌道修正する段階である（ <b>作業期</b> ） →④目標達成の可否やその効果についての評価や、次のステップへのスムーズな移行の段階である（ <b>終結・移行期</b> ）
ケアマネジメント	対象者の問題解決に必要なと思われる（ <b>情報</b> ）を提供し、対象者が（ <b>自己決定</b> ）できるように援助していく方法。
ケアマネジメントの 展開	① <b>エントリー</b> →② <b>アセスメント</b> （クライアントと話し合い、具体的なニーズを明確にしていく段階） →③ <b>ケアプラン作成</b> （クライアントと一緒に作成する） →④ <b>ケアプラン実施</b> →⑤ <b>モニタリング</b> （サービス提供の確認と効果測定） →⑥ <b>再アセスメント</b> （必要がある場合） →⑦ <b>ターミネーション</b> （目的の達成の確認）
ケース概要	事例があった際のそのケースの（ <b>あらまし</b> ）、対応などを記録したもの。

語句	概要
ケースカンファレンス	異なる専門職が、専門の立場で（意見交換）しつつ検討すること。
ケース記録	面談の状況を時系列に記録したもの。（経過記録）ともいう。
ケースワークの展開	①インテーク→②アセスメント→③プランニング→④インターベンション→⑤モニタリング・エバリュエーション→⑥ターミネーション
行動変容アプローチ	対象者の（問題行動）を取り上げ、条件反射の消去、または強化により、特定の問題行動を変えるよう働きかける。
コノプカの定義	「グループワークとは、（社会事業）の一つの方法であり、意図的な（グループ経験）を通じて個人が社会的に機能する力を高め、また、個人・集団・地域社会の諸問題に、より効果的に対処できるよう、人々を援助すること」。コノプカは「（グループワークの14原則）」を提唱した。
コミュニティワーク	地域に共通の福祉の問題を、（住民）みずからが解決できるように援助していく方法。（地域援助技術）ともいう。
コンサルテーション	（援助者自身）が、ほかの分野の専門家から（助言）や（指導）を受ける方法。
自己覚知	ソーシャルワーカーが、（自分自身）を理解すること。自身の思考パターン、行動傾向、感情の起伏などの特性を理解しておくこと。
実存主義アプローチ	自分自身の知覚や体験を重視し、自分を知り、（あるがままの自分）であることを考えさせる。
ジェノグラム	マッピング技法のひとつ。（世代関係図）、（家族関係図）とも呼ばれ、家族関係の相互関係や全体像を描き出していく図式法をいい、（視覚化）によって文章による説明を補う機能をもっている。
社会資源	利用者のニーズにこたえ、問題解決するための地域社会における設備や制度。社会資源には、家族、親せき、友人、ボランティアの支援などの内的資源（インフォーマルサポート）と、行政、民間機関、支援団体などの提供するサービスである外的資源（フォーマルサポート）がある。
心理・社会的アプローチ	対象者の問題を診断する際、社会環境の中で対象者がどのような心理状態にいるのかを（言語化）させ、（コミュニケーション）を取りながら解決していく。診断主義の立場からのアプローチ。
スーパービジョン	経験豊富なワーカー（スーパーバイザー）が、経験の浅いワーカー（スーパーバイジー）を指導し、援助技術向上を支援する方法。（管理的）機能、（教育的）機能、（支持的）機能、（評価的）機能の4つの機能がある。

語句	概要
ストレングスモデル	クライアント自身の、元に戻ろうとする力＝「(回復力)」を重視するスタイル。
生活モデル	(人)と(環境)が相互に影響しあい、改善されていく交互作用を援助の過程にとりいれる考え方。人、環境を単独で考えるのではなく、人と環境が、相互にどこに問題点があるのかをみつけていくことを重視する。
セルフヘルプグループ	共通の悩みや問題を抱える人やその家族が、(自主的)に活動を行うグループ。
相互作用モデル	グループワーカーがグループとメンバーの(媒介者)となり、双方に働きかけ、両者の相互作用関係を促進させるグループワークの方法。(シュワルツ)が提唱。
ソーシャル・アクション	社会福祉の問題を解決するのに必要な(社会資源)を新設することや、(行政)に働きかけるなどの活動を通して改善を図る方法。(社会福祉活動法)ともいう。
ソーシャル・アドミニストレーション	社会福祉サービスの供給・計画・活動・改善のために、サービスの(合理化)や効率的運営を図る方法。(社会福祉運営管理)ともいう。
ソーシャル・インクルージョン	社会的に(排除)されやすい人々を地域社会の中で支え合い、助け合いながら暮らしていこうとする考え方。(社会的包含)(社会的包摂)ともいう。
ソーシャル・プランニング	問題点を特定し、それを解決するための(計画)を開発していく過程。計画の実践は含まれない。(社会福祉計画法)ともいう。
ソーシャルワーク・リサーチ	社会福祉の実態やサービスの方策を(調査)して、(問題点)を明確にし、問題解決や活動の改善に必要な(資料)などを収集すること。
ソシオメトリー	グループワークにおいて、グループ内の人間関係や、メンバーの一人一人の位置づけ、心理的特性などを理解していくための方法。(モレノ)が提唱した。
ターミネーション	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 問題が解決してこれ以上専門職の援助が必要ないと判断できた段階のこと。(終結)ともいう。
地域包括ケアシステム	重度な(要介護状態)となっても住み慣れた(地域)で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。
逐語記録	(録音)などを使い面談の内容を(すべて)記録したもので、面談の際に語られた内容をそのまま記録する。

語句	概要
治療モデル	クライアントの抱える問題を、医者が病気を診断するかのようにな社会的な視点で診断し、それを解決していく方法。( 調査→社会診断→処遇 )の流れが医療行為と同じ経緯をたどること＝まるで治療のようであることからのネーミング。( リッチモンド )が提唱。
ナラティブアプローチ	対象者の行動について、( 物語 )を語るように( 客観的 )に語らせることによって援助者が理解を深め、共に問題を解決していく。
ネットワーク	対象者の問題を解決するために、周囲の( 社会資源 )(家族、友人、行政など)を再編成し、対象者を支えていく( 支援網 )を作る方法。
パールマンの定義	「ケースワークとは、個人が社会に対して機能する際に出会う問題を、より効果的に解決できるよう援助するために、( 福祉関係機関 )によって用いられる過程である」
パワーズの定義	「ケースワークとは、クライアントとその環境全体、またその一部との間に、よりよい適応をもたらすのに役立つような( 個人 )の内的な力および( 社会資源 )を動員するために、人間関係についての科学的知識と対人関係における技能を活用する芸術( アート )である」
ファミリーマップ	マッピング技法のひとつ。( 家族の関係 )を図式化したもの。家族のコミュニケーション、力関係、情緒的な結びつきなどの家族の状態を示す。
フェイスシート	医療や福祉の分野などで活用される、( 情報収集 )の( 調査票 )のこと。利用者の氏名、住所、家族構成、健康状態、主訴等の概要が一目で理解できるように記録されたもの。
フェミニストアプローチ	女性の( 解放 )を目指していく。 抑圧された人々へのアプローチとして有効な方法。
プランニング	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 アセスメントの結果を受け、具体的な援助を計画し、決定する段階のこと。( 援助計画 )ともいう。
マッピング技法	援助する対象者の人間関係や環境などを図式化し、問題点や解決策を明確にするための技法のこと。ジェノグラム、ファミリーマップ、エコマップなどがある。
モニタリング	ケースワークの展開。「インテーク→アセスメント→プランニング→インターベンション→モニタリング・エバリュエーション→ターミネーション」 クライアントに対する援助が円滑に行われているのかを確認すること。( 効果測定 )ともいう。
モレノ	グループ内の( 人間関係 )やメンバーの位置づけなどを理解していく方法＝( ソシオメトリー )を提唱した。

語 句	概 要
問題解決 アプローチ	援助者と対象者が問題の（ 焦点 ）を明らかにしていきながら、問題を解決していく。
要約記録	面談の（ 要点 ）をまとめた記録のこと。
リッチモンド	クライアントの問題を把握し、どのように援助していくかを診断し＝「社会診断」、これを医師が治療するように解決していくスタイル。「診断→治療」＝（ 治療モデル ）を提唱した。
レヴィン	グループとその中の個人、グループ同士、グループと組織など、集団の中で個人やグループの力関係を明らかにしていきながら、解決を見出していく＝「集団力学」（ グループダイナミクス ）を提唱。
ワーカーズコレクティブ	地域の住民が（ 共同 ）で出資し、全員が対等な立場で、経営に参加しながら、地域社会に必要なものやサービスを提供する事業体。営利を第一目的とせず、地域社会に貢献する事業を行う。